

問2 所在地: 長崎県 124, 都道府県 0, 佐世保市 39, 無回答 0

【長崎県以外の都道府県】 東京: 2 福岡: 1 佐賀: 1

【長崎県内の佐世保市以外の市町村】 長崎市: 18 諫早市: 19 大村市: 15 平戸市: 6 松浦市: 5 五島市: 2 西海市: 5 雲仙市: 2 島原市: 3 南島原市: 3

問3 従業員数(正規のみ): 1番多い回答 (回答番号) 1, 1, 78, 無回答数 1

(2)30~99人 40, (3)100~299人 5, (5)500~999人 1, (7)3000人~ 3

問4 業種: 児童福祉事業[保育所] 25, 25, 65, 無回答数 1

9.卸売・小売り 1, 16.飲食サービス 2, 17.宿泊 1, 22.学校教育 34, 26.高齢者福祉 20, 27.障がい福祉 1, 29.サービス 1, 32.その他 3

問5 外国人労働者(留学生)の採用実績・今後の採用の予定の有無について

外国人労働者の雇用については、様々な業種での取り組みが積極的に開始されている。今回のアンケートの結果において採用予定と回答が多かったのは、回答事業所に高齢者福祉施設が多く含まれていたことが一つの要因と捉えられる。

問6 短大卒業採用状況(人数): 栄養士 517, 10, 103, 0

今回、栄養士分野では給食受託企業が回答しているため、500超の数字が見られる。栄養・製菓・一般職では、5年以内での本学卒業生の採用は行われたものの、令和2年度卒業生の採用数が0との回答であった。

問7 過去5年採用数の多い短大・専門学校(上位3校): 栄養士 長崎女子短大, 1位

長崎市を中心とした県南部からの回答が多かったこともあり、長崎市内の大学・短大からの採用が多いという回答が目立った。本学学生は県北地区だけでなく、県央・県南地区からの入学も多いため、全体的に上位に挙げられるよう、県内就職をさらに促していくべきかと捉えられる。

問8 将来長崎短期大学からの採用について: 栄養士 18, 13, 0, 30

コロナ禍採用活動を縮小する企業・事業所の傾向もみられるが、現在と同程度、または本学生の割合を増やしたいという意見は多く、本学卒業生への一定の評価と、特に保育・介護分野での人材不足が顕著であることが見て取れる。

問9 コロナ禍での採用活動への影響の有無: 有と回答した件数 18, 無と回答した件数 93, 無回答 11

「有」回答の具体的な内容: 実習生からの採用を検討していたが、実習ができなかった

問10 10年前と比較して長崎短期大学卒業生の能力について: 大変優れている 2, やや優れている 15

【Q10・Q11 共通項目】 1.学問分野・専門知識や技能, 2.幅広い教養・一般常識

「大変優れている」「やや優れている」との評価で件数として上位であった「(3)新しい知識・能力を習得する姿勢」は、問11の「在学中に身につけて欲しいこと」での意見とリンクしている。

問11 在学中に身につけてほしいこと: 上位3つ: 学問分野・専門知識や技能, 新しい知識・能力を習得する姿勢

最も多く選択された番号(1位): Q10-1 1, Q10-2 3, Q10-3 3

問12 総じて本学卒業生の印象はどのような評価か: 非常に良い 10, 良い 55

「(3)新しい知識・能力を習得する姿勢」を身につけて欲しいという意見が高く、積極的に自身を向上させようという意志を有した人物を求めていることが分かる。

問13 地域密着型教育について: インターンシップ実施の有無, 有 43, 無 59

(2)地域密着型教育のメリットとして考えられるもの

1.学生の地域志向性向上 42, 2.地域の歴史や成り立ちへの理解度上昇 1

インターンシップについては、様々な業種で行われている。実施の規模や内容についてはそれぞれであるが、やはり1週間程度の実施期間を設ける企業・事業所が多いことがわかる。

組織再編による地域共生学科の設置は、地域と大学との接点を設けることによる地域人材育成が目的の大きな柱としてある。